

2014年度 事業報告書

(2014年4月～2015年3月)

2014年度は、公益財団法人へ移行後3年目となる。
当該期間内に実施した事業活動は以下の通り。

(注)金額は、管理費からの振替前

1. 【外国人留学助成】

17,458千円

(従来プログラム)

アジア等からの国際大学留学生6名／年に対する奨学金助成 (26年目)

- ・2012年度生6名(6月卒業)
- ・累計助成者数：166名
(男性101名 女性65名、17か国・地域)

6月23日(月) 2012年度生卒業前の財団訪問(修了報告)
卒業文集発行

6月25日(水) 国際大学修了式(於:新潟県南魚沼)出席

(新規プログラム:KMMFスカラシップ)

外国人留学生の受け入れに優れた8大学を選考し、各校1名／年の
外国人留学生助成を行う

4月16日(水) ・8大学の決定
(東北大学、国際大学(IUJ)、筑波大学、東京大学、
同志社大学、奈良先端科学技術大学院大学、
大阪大学、九州大学)

10月9日(木)～ ・留学生現地面談
～28日(火) ・担当教官・事務局への挨拶

11月8日(土)～ ・KMMFスカラシップ理念研修会実施
～9日(日) 目的:創業者の理念の理解、日本文化に触れる
KMMFスタッフ&奨学生同士の懇親
内容:歴史館見学、パナソニックセンター大阪見学
大阪城見学、海遊館見学
奨学生によるプレゼンテーション実施

3月7日(土)～ ・KMMF冬期研修会実施
～8日(日) 内容:個人面談、グループワーク
宮島見学、原爆ドーム見学、広島平和記念公園見学

2.【日本人留学助成(松下幸之助国際スカラシップ)】

33,198千円

アジア、アフリカ、ラテンアメリカ地域への留学助成(17年目)

・本年度の認定者:10名

東アジア	: 韓国・台湾・中国
東南アジア	: タイ
南アジア	: インド・パキスタン
西アジア	: イスラエル
アフリカ	: ルワンダ・モロッコ
ラテンアメリカ	: ボリビア

・累計助成者数:185名
(うち助成終了者158名、留学先:45か国・地域)

9月16日(火) スカラシップ第1次選考委員会(書類審査)
応募者33名から21名選考

10月6日(月) スカラシップ第2次選考委員会(面接審査)
認定候補者10名

3月19日(木) 「松下幸之助国際スカラシップ」認定式
(於:リーガロイヤルホテル大阪)
・認定者10名に認定証・授与と松下幸之助歴史館訪問
・本年度より助成期間が10月開始から翌年4月開始に変更

松下幸之助国際スカラシップフォーラム

10月18日(土) 第10回松下幸之助国際スカラシップフォーラム開催
テーマ『跳びこむ、もがく、気づく - そして私が変わる』

「自由世界から権力競合へー中国・ロシアと現在国際政治ー」

講師:藤原 帰一氏

東京大学 大学院・法学政治学研究科教授

「成果発表」

松下幸之助国際スカラシップ終了生 5名
(カンボジア、タイ、トルコ、ペルー、ブラジル)

- ・参加人数:80名
- ・共催:フォーラム委員会
(委員長:水口拓寿氏 武蔵大学人文学部教授 2000年度奨学生)
松下幸之助記念財団
- ・後援:外務省

10月中旬 松下幸之助国際スカラシップ留学終了者、
新規8名のブックレット出版(出版累計:41冊)

松下正治記念学術賞 (出版助成)

4月11日(金) 第1次選考委員会

7月31日(木) 最終選考委員会による選考結果
水口 拓寿 : 武蔵大学 教授
論文テーマ : 儒学から見た風水
- 宋から清に至る言説史 -

10月中旬 2013年度受賞者(俵 寛司氏)
著書(脱植民地主義とベトナム考古学)出版

3月19日(木) 「松下正治記念学術賞」授賞式

3.【研究助成】

20,667千円

人文・社会科学分野の研究を行う博士後期課程在籍者及び博士後期課程終了後5年以内の研究者への助成(26年目)

6月14日(金)～7月12日(金) 書類選考

7月23日(水) 選考委員会 (於:ホテルグランヴィア京都)

応募総数 296件、合格者数 39件

	日本人	外国人	合計
応募件数	207 (70%)	89	296
助成件数	30 (92%)	9	39

1989年～2014年

累計助成者数：1,790件

4.【国際交流助成】

3,928千円

トルコ国 チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学日本語教育学科学生の日本研修を助成(18年目)

- ・本年度は学生6名が研修に参加
- ・累計助成者数 … 97名

6月25日～29日 岡山で岡山大学の学生と交流

6月30日～7月6日 広島でホームステイと、広島国際プラザにて日本語及び日本文化研修

7月7日～9日 松下幸之助記念財団を訪問し、松下理事長と昼食懇談
松下幸之助歴史館、パナソニックエコテクノロジーセンター等を訪問
京都・奈良にて日本文化研修

7月10日～13日 大阪でホームステイ

5.【自然と人間との共生のための事業(松下幸之助花の万博記念賞)】

15,726千円

「国際花と緑の博覧会」の基本理念の実現に貢献し、その目的にかなう学術的研究、およびその実践においてすぐれた成果をあげた個人、またはグループを「松下幸之助花の万博記念賞」で顕彰する事業

1) 受賞候補者の推薦依頼 (2014年6月)

推薦人247名に推薦依頼

2) 候補者の推薦締切り (2014年8月)

松下幸之助記念賞	21件	
松下幸之助記念奨励賞	15件	
松下正治記念賞	17件	
選考対象 合計	53件	(※ 昨年度推薦分を含む)

3) 選考委員会 (於:千里阪急ホテル)

第1回 5月26日(月) 推薦人の見直し・確認
9月1日(月)~9月19日(金) 書類選考
第2回 9月22日(月) 第一次選考
9月24日(水)~10月14日(火) 最終候補者詳細調査
第3回(最終) 10月15日(水) 最終選考

選考結果は下記の通り。

(敬称略)

松下幸之助記念賞 加藤 雅啓氏 東京大学 名誉教授
国立科学博物館 名誉研究員

(300万円) シダ植物や渓流植物の多様性と形態進化の研究を通じて、常に新しいアイデアを示して成果をあげ学会をリードするとともに、植物多様性保全にかかわる事業を推進し、人と自然の調和に貢献した功績。

松下幸之助記念奨励賞 大原 雅氏 北海道大学大学院地球環境科学研究院 教授
(150万円) エンレイソウなどの春植物の生活史や繁殖生態の研究を通じて、自然の中で遅く、また美しく生きる植物の生き生きとしたすがたを広く紹介してきた功績。

松下正治記念賞 小笠原 左衛門尉亮軒氏 公益社団法人園芸文化協会 副会長
名古屋園芸株式会社 取締役隠居

(200万円) 多くの園芸植物を育て実践に裏打ちされた技法を広くメディアを介して市民生活の中に根付かせるとともに、江戸園芸文化の研究と伝承に貢献した功績。

4) 贈呈式・講演会 (2015年2月7日)

リーガロイヤルホテル大阪「山楽」の間において開催し、170名が参加。

* 贈呈式

松下理事長から各受賞者に表彰状、クリスタル楯、目録及び花束を贈呈した。

* 講演会

今回の受賞者3名の方々が講演を行った。

① 加藤 雅啓氏

テーマ: 美を捨て限界に生きる植物を探る

② 大原 雅氏

テーマ: 植物の生活史研究から環境教育へ

③ 小笠原 左衛門尉亮軒氏

テーマ: 江戸の園芸文化
-本草と農業から生まれた庭園、いけ花、そして園芸-

6. 【「自然と人間との共生」理念の普及】

1,714千円

人間が自然を尊び調和しながら生きる社会を実現する理念の普及活動及びその関連事業に対する助成

理念に合致した活動を推進する2つの団体に寄付を実施

①認定NPO法人 アースウォッチ・ジャパン （寄付金額 50万円）

環境問題について実証的な研究活動を行っている研究者の
野外調査の現場に、一般市民を環境ボランティアとして派遣
する団体
小学校の教員の方がボランティアとして参加された野外調査に
財団からも体験参加

②認定NPO法人 環境市民 （寄付金額 50万円）

地球規模の環境問題を視野に入れ、地域で実践活動を行っている。
本取り組みでは、生物多様性の理解促進のため、小学生向けの
環境教育教材を作成。

理事会・評議員会等の開催

<理事会>

(1) 第7回理事会

- ・開催日： 2014年5月21日(水) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者： 理事総数9名のうち8名、監事総数3名のうち2名が出席 オブザーバー:評議員(6名)
- ・議案： ①第1号議案「2013年度(平成25年度)事業報告案承認」の件
②第2号議案「2013年度(平成25年度)決算案承認」の件
③第3号議案「第4回(定時)評議員会招集」の件
④第4号議案「評議員会へ提出する理事候補者名簿(案)」の件
- ・報告事項 ①職務執行の状況について

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(2) 第8回理事会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく理事会の開催

②目的である事項

(議案)

- ・第1号議案「代表理事1名、専務理事(兼)事務局長1名選定」の件
- ・第2号議案「顧問2名選任」の件
- ・提案書の発送=2014年5月21日
- ・理事会の決議があったものとみなされた日=2014年6月5日

上記2議案について、議決権を有する理事の全員から書面により同意の意思表示を得た。
また、監事全員から、書面により異議がないことの意味表示を得た。

(2) 第9回理事会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく理事会の開催

②目的である事項

(議案)

- ・第1号議案「保有株式の議決権行使の承認」について
- ・提案書の発送=2014年6月6日
- ・理事会の決議があったものとみなされた日=2014年6月18日

上記1議案について、議決権を有する理事の全員から書面により同意の意思表示を得た。
また、監事全員から、書面により異議がないことの意味表示を得た。

(3) 第10回理事会

- ・開催日： 2015年3月3日(火) 於 リーガロイヤルホテル大阪
- ・出席者： 理事総数8名のうち8名、監事総数2名のうち2名が出席
- ・議案： ①第1号議案「2015年度(平成27年度)事業計画及び予算」の件
②第2号議案「各種選考委員選任」の件
③第3号議案「第5回評議員会招集」の件
④第4号議案「評議員会へ提出する理事候補者(案)」の件
- ・報告事項 ①職務執行の状況について

上記議案を審議の結果、すべて原案通り承認された。

(4)第11回理事会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく理事会の開催

②目的である事項

(議案)

- ・第1号議案「専務理事(業務執行理事)兼事務局長1名選定」の件
- ・第2号議案「第6回評議員会招集」の件
- ・第3号議案「評議員会へ提出する理事候補者(案)」の件
- ・提案書の発送＝2015年3月4日
- ・理事会の決議があったものとみなされた日＝2015年3月20日

上記3議案について、議決権を有する理事の全員から書面により同意の意思表示を得た。
また、監事全員から、書面により異議がないことの意味表示を得た。

<評議員会>

(1)第4回評議員会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく評議員会の開催

②目的である事項

- ・第1号議案「2013年度(平成25年度)事業報告案承認」の件
- ・第2号議案「2013年度(平成25年度)決算案承認」の件
- ・第3号議案「任期満了に伴う役員(理事)の選任」の件
- ・提案書の発送＝2014年5月21日
- ・評議員会の決議があったものとみなされた日＝2014年6月5日

上記3議案について、議決権を有する評議員の全員から書面により同意の意思表示を得た。

(2)第5回評議員会

<提案事項>

①開催方法

- ・決議の省略に基づく評議員会の開催

②目的である事項

(議案)

- ・第1号議案「理事1名選任」の件
湯浅理事辞任に伴う後任理事の選任

(報告事項)

- ・第10回理事会の内容「2015年度事業計画及び予算他
- ・提案書の発送＝2015年3月4日
- ・評議員会の決議があったものとみなされた日＝2015年3月20日

上記1議案について、議決権を有する評議員の全員から書面により同意の意思表示を得た。

附属明細書

平成25年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施工規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。